

くすっと笑える本

「笑う門には福来る」ということで、今月は福を呼ぶ笑える本をご紹介します。

1冊目は、キム・ヒョウン/作『わたしたちのケーキのわけかた』です。

主人公は5人のきょうだい。つまり、ケーキも牛乳もキックボードも1つのものを5人でわけなくてははいけません。例えば、りんごなら6等分に分けたものを1つと最後の1かけをさらに5つにわけたものを1つ。5つあっても大きさが違うものは、欲しいものを手に入れるためのアピールが必要だし、なによりすばしっこくなければいけません。きょうだい知恵をしぼって、わりざんやポジションどりを駆使し、あきらめない心でたくましくサバイバルしている姿にくすっと笑える絵本です。

2冊目は、有沢佳映/著『かさねちゃんにきいてみな』です。

この本は、6年生のかさねちゃんが班長をつとめる登校班の朝の出来事を、5年生で副班長の孝行の視点で描いた日記形式の物語です。同級生の実沙が引っ越したことで来年は班長になることが決まってしまう、絶望している孝行。なぜなら、個性的すぎるメンバーを完璧に統率できるカリスマ班長のかさねちゃんのように自分にはなれないと感じているからです。暴れん坊女子、人見知り、忍者マニアの兄弟、ギャルに問題児と学年も家庭環境もばらばらな小学生がにぎやかに登校する様子がユーモラスに描かれています。

3冊目は、新川帆立/著『帆立の詫び状 てんやわんや編』です。

この本は、2020年に「このミス」大賞を受賞し、『元彼の遺言状』でデビューした作家のエッセイです。デビュー作が好評で次々と原稿依頼が舞い込み、夙切に追われつつも、原稿外ライフを楽しむ姿が描かれています。「悪気のないおじさん」への対応や、東大女子という呪いについて、シリアスになりがちな内容も冷静にさらっと受け流し、書店員が選ぶ本屋大賞の一次投票では、ドラマ化された『元彼の遺言状』に1票も入らなかったことを赤裸々に語る姿に思わず笑ってしまいます。

おすすめ本コーナーには、他にもエッセイや川柳の本などくすっと笑える本を集めました。一年で一番寒い季節、寒さでこわばるほっぺたを笑える本でほぐしてくださいね。